

学校の適正規模・適正配置に関するアンケート調査 ご協力のお願ひ（教職員用）

教職員の皆様には、日ごろから本市教育行政に対して格別のご理解・ご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

さて、本市では将来を担う子どもたちに、より望ましい教育環境を整えるため、中・長期的な展望に立った「学校再編計画」の策定に平成23年度から取りかかります。

この調査は、市立小・中学校の適正規模・適正配置についての基礎資料とするため、現場の教職員の皆様にご協力をお願いするものです。

この調査は無記名であり、回答は全て統計的に処理し、上記の目的以外に使用することはありません。この調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成23年9月

吉野川市教育委員会事務局

【記入上の注意】

- 1 この調査票は、氏名を記入していただく必要はございません。
- 2 回答は、特に指定がなければ、1問につき一つだけ○を入れ、又は文字を記入してください。
「当てはまるもの全てに○」など指定されている場合がありますので、お間違えのないようお願いいたします。
- 3 ご記入いただいた調査票は、元の封筒に入れて **10月7日（金）まで** に、教育総務課へご提出くださいますようお願いいたします。
- 4 この調査票（教職員用）以外に、保護者用の調査票が届いた場合は、この調査票と保護者用をそれぞれご提出ください。
- 5 郵便で調査票（一般市民用）が届いた場合は、一般市民用は提出いただくなくても結構です。
- 6 この調査票についてのお問い合わせは、下記担当までお願いいたします。

吉野川市教育委員会事務局（平日8:30～17:15）
教育総務課 教育政策係 担当：吉尾（よしお）
電話：42-4113 ファクシミリ：42-5566

■基本項目（回答者自身）

問1 性別

男 女

問2 年齢（平成23年10月1日現在の満年齢でお答えください。）

20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳以上

■適正規模について

平成23年5月1日現在、市内の小学校14校のうち、全ての学年において1学級（クラス）の学校が10校、複式学級が1校あり、市立中学校4校でも学級数が減少傾向にあります。

	小学校		中学校	
国が定めた標準学級数	1学年当たり 2～3学級		1学年当たり 4～6学級	
県が定めた学級編制基準	1～3年	4～6年	1年	2～3年
	35人	40人	35人	40人

（※地域の実態を考慮できることになっています。）

こうした状況を踏まえて、以下の質問にお答えください。

問6 あなたは、小学校における一つの学年での学級数、1学級当たりの児童数は、どの程度が望ましいと考えますか。

- ア 小学校での一つの学年の学級数
- 1) 1学級
2) 2～3学級程度
3) 4～5学級程度
4) その他（ ）
- イ 小学校での1学級当たりの児童数
- 1) 15人以下
2) 20人程度
3) 25人程度
4) 30人程度
5) 35人程度
6) 40人程度

問7 あなたは、中学校における一つの学年での学級数、1学級当たりの生徒数は、どの程度が望ましいと考えますか。

- ア 中学校での一つの学年の学級数
- 1) 1学級
2) 2～3学級程度
3) 4～5学級程度
4) その他（ ）
- イ 中学校での1学級当たりの生徒数
- 1) 15人以下
2) 20人程度
3) 25人程度
4) 30人程度
5) 35人程度
6) 40人程度

問8 小・中学校において学級数や学級の人数が減ることの影響について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

- 1) 一人一人が担う部分が多くなるため工夫・協力し合うことを学び、やり甲斐や責任感が生まれることが期待できる。
- 2) 適度な刺激や切磋琢磨する機会が少なくなる恐れや、多様な価値観が育ちにくくなることが不安である。
- 3) 子どもの人数が減ることで、かえって一人一人の個性や特性に応じたきめ細やかで丁寧な指導が期待できる。
- 4) 人間関係が固定化・序列化する恐れや、学級の中で人間関係が破綻した場合、学級編制による回避ができないことが不安である。
- 5) 学校行事で出場や発表の機会に恵まれることが期待できる。
- 6) 団体競技の種類・内容が制限されることが不安である。
- 7) その他（ ）

